



平成 19 年 10 月 23 日

各 位

会 社 名 沖繩電力株式会社
 代 表 者 名 取締役社長 石嶺 伝一郎
 (コード番号 9511 東証一部・福証)
 問 合 せ 先 経理部 決算課長 金城 忠樹
 T E L (070)5817-2341

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 7 月 31 日に公表いたしました平成 20 年 3 月期の中間期及び通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 中間期

(1) 連結中間業績予想数値の修正 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	84,600	12,100	10,200	6,600	377.25
今 回 修 正 予 想 (B)	83,000	9,600	7,700	4,800	274.42
増 減 額 (B-A)	△1,600	△2,500	△2,500	△1,800	△102.83
増 減 率 (%)	△1.9%	△20.7%	△24.5%	△27.3%	△27.3%
(ご参考) 前中間期実績(平成 19 年 3 月期)	84,834	12,717	10,632	6,878	432.41

(2) 個別中間業績予想数値の修正 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	78,500	11,700	10,000	6,500	371.54
今 回 修 正 予 想 (B)	78,100	9,300	7,600	4,800	274.42
増 減 額 (B-A)	△400	△2,400	△2,400	△1,700	△97.12
増 減 率 (%)	△0.5%	△20.5%	△24.0%	△26.2%	△26.1%
(ご参考) 前中間期実績(平成 19 年 3 月期)	79,456	12,476	10,646	6,806	427.86

2. 通期

(1) 連結業績予想数値の修正（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	162,800	16,600	12,800	8,000	457.29
今回修正予想 (B)	162,000	14,400	10,600	6,500	371.63
増減額 (B-A)	△800	△2,200	△2,200	△1,500	△85.66
増減率 (%)	△0.5%	△13.3%	△17.2%	△18.8%	△18.7%
(ご参考) 前期実績(平成19年3月期)	159,395	15,482	11,739	6,418	403.50

(2) 個別業績予想数値の修正（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	148,600	15,500	12,000	7,700	440.14
今回修正予想 (B)	149,000	13,500	10,000	6,300	360.20
増減額 (B-A)	400	△2,000	△2,000	△1,400	△79.94
増減率 (%)	0.3%	△12.9%	△16.7%	△18.2%	△18.2%
(ご参考) 前期実績(平成19年3月期)	147,201	13,690	10,096	6,398	402.25

3. 修正の理由

(1) 中間期

(連結)

売上高は、当社個別の売上高減に加え、建設業において公共工事及び民間工事の受注減などから、16億円減となる見込みです。

利益については、当社個別の影響などから、営業利益、経常利益は25億円減、中間純利益は18億円減と前回発表を下回る見込みです。

(個別)

売上高は、上期の販売電力量が計画を下回ったことから、4億円減となる見込みです。

利益については、売上高減に加え、燃料価格の高騰に伴う燃料費の増、台風復旧などの修繕費の増や他社購入電力料、その他費用の増などがあり、営業利益、経常利益は24億円減、中間純利益は17億円減と前回発表を下回る見込みです。

(2) 通期

(連結)

売上高は、当社個別の売上高増の影響はあるものの、建設業において公共工事及び民間工事の受注減が予想されることから、8億円減となる見込みです。

利益については、当社個別の影響などから、営業利益、経常利益は22億円減、当期純利益は15億円減と前回発表を下回る見込みです。

(個別)

売上高は、足元の燃料価格の高騰に伴い、下期の燃料費調整額が増加することから4億円増となる見込みです。

利益については、売上高増が見込まれるものの、燃料価格の高騰に伴う燃料費の増、修繕費の増などにより、営業利益、経常利益は20億円減、当期純利益は14億円減と前回発表を下回る見込みです。

※業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想と異なる可能性があります。

以 上